



火災予防3分間チャレンジ～住宅用火災警報器編～



新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策に伴う外出自粛で、御自宅で過ごす時間が増えていませんか？ じっくり時間が取れる今だからこそ、火災予防に取り組みましょう！

住宅用火災警報器をしっかり設置・維持管理して、火災予防の「切り札」にしましょう！



01:00

まずは住宅用火災警報器について知ろう！

住宅用火災警報器とは？

火災の煙や熱を感知して、音や声で知らせてくれる機器です。

火災になる前や初期の段階で、火災に気付いて、すぐに消火や避難ができ、火災から命や財産を守ることにつながります。



02:00

設置していますか？住宅用火災警報器

台所と寝室に設置されていますか？

(京都市では、火災予防条例で設置が義務付けられています。)

寝室が2階以上にある場合、階段にも設置されていますか？

(1階で発生した火災の煙を感知してくれます！)



※一般的な住宅の場合です。設置場所はこちらを御覧ください！



03:00

1年に1回は動作確認を！！

住宅用火災警報器の点検ボタンを押すか、ひもを引っ張ろう。

(異常がない場合は、鳴動音が鳴り、数秒で止まります。)

(警報音が鳴らない場合や、火災警報以外の音が鳴る場合は、電池切れか、本体の故障が考えられますので、交換しましょう。)

※住宅用火災警報器の寿命は約10年です。

作動確認の方法



点検の方法は本体のひもを引くものや、ボタンを押して点検するものがあります。